

産科婦人科

研修指導者名

堂地 勉 小林 裕明 沖 利通 岩元 一朗 神尾 真樹 戸上 真一 河村 俊彦
新谷 光央 中條 有紀子 福田 美香 横峯 大策 崎濱 ミカ 濱田 朋紀 唐木田 智子

メッセージ

産婦人科は生命の誕生にはじまり、月経の不快感、更年期の憂うつさ、そして生命を脅かす悪性疾患などを通して女性の生涯に関わる診療科です。

鹿児島大学産科婦人科教室は、関連施設と協力しながら鹿児島の産婦人科医療を担っています。

また、国内をリードする先進的医療や国内外の臨床試験にも積極的に取り組んでいます。

女性のみならず胎児にも目を配りながら、内科的・外科的及びプライマリーケアも満載の非常にやりがいのある診療科です。臨床・研究にともに取り組んでいく仲間をお待ちしています。

研修目標

産科：分娩介助、帝王切開、周産期管理、妊婦健診

婦人科：外来診察、診断、治療（手術、化学療法等）、臨床試験

新生児：未熟児・新生児の蘇生、呼吸器管理、輸液管理

研修可能技能

分娩（会陰縫合、吸引分娩）、手術（帝王切開、良性腫瘍、悪性腫瘍、内視鏡手術、腔式手術）
化学療法、周産期管理、外来診療、未熟児・新生児管理、超音波診断法

取得できる専門医資格技能

日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児学会、日本婦人科腫瘍学会腫瘍専門医、
日本生殖医学会生殖医療専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本臨床細胞診学会専門医

特徴

まずは日本産科婦人科学会専門医の取得を目指す。

大学病院には腫瘍、周産期、不妊・内分泌、女性ヘルスケアの各専門医がいるため、それぞれの分野に関して基本的なことから最新のことまで学ぶことが可能。

大学病院ならではの高度な集学的治療や臨床試験などを学ぶことができる。

また関連病院にて一般的な産婦人科の手技を多く学ぶことができる。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院および連携する関連病院



研修期間

日本産科婦人科学会専門医取得には、初期臨床研修終了後3年以上の産婦人科医としての経験を要するため、3年間で最短としたプログラムとしている。

研修プログラム

【1年目、2年目（卒後3年目、4年目）】

- ・分娩研修（関連病院含めて）
- ・NICU（鹿児島市立病院など）
- ・産婦人科医としての基礎的な知識を身につける（大学病院）
- ・この2年間で一人で分娩を取り扱えるようになる（分娩介助、内診、経膈エコー、帝王切開術）

【3年目（卒後5年目）】

- ・関連病院や大学病院にて周産期、婦人科腫瘍、不妊・内分泌、更年期などの診療に携わり経験を積む。
- ・産婦人科の一般外来の診療ができるようになる
- ・基本的な手術（帝王切開術、付属器摘出術、単純子宮全摘術など）と悪性腫瘍手術の助手ができるようになる
- ・産婦人科専門医認定試験（筆記、面接）
分娩症例 100例、手術症例 50例、子宮内容除去術 10例 が最低限必要
(症例は豊富であり、本プログラム研修では容易にクリアできる)

【4年目（卒後6年目）以降】

- ・産婦人科医としてさらに経験を積みながら、サブスペシャリティー専門医を目指す

【サブスペシャリティ 分野】

- ・婦人科腫瘍
- ・周産期
- ・生殖・内分泌
- ・女性ヘルスケア
- ・博士号取得や留学

研修病院の症例実績

手術・症例	病院名	大学病院
	子宮頸癌	89
	子宮体癌	74
	卵巣癌	49
	膣癌・外陰癌	1
	その他の癌	5

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	0	(0)	0
卒後4年目	1	(0)	2
卒後5年目	0	(0)	0

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 8名程度/年

研修と大学院の関係

卒業後何年目でも入学可能、海外留学可能、社会人選抜大学院

処 遇

大学病院の医員としての待遇（関連病院ではその待遇規定に準ずる）

研修終了後の進路

大学の教員への道、関連病院のスタッフ、開業など

指導医・専門医

日本産科婦人科学会（専門医30名）

日本婦人科内視鏡学会（技術認定医3名）

日本細胞診学会（細胞診専門医4名）

日本生殖医学会（生殖医療専門医2名）

日本婦人科腫瘍学会（専門医4名）

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学産婦人科医局

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

TEL 099-275-5423

FAX 099-265-0507

E-mail: obgy@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

